

論語教室だより

『寺子屋・こども論語塾』世話人会

第 6 号

2011 (平成23) 年9月17日 (土)

あきらめたら、あかん!

寺子屋・こども論語塾 主宰 新田 修

8月の寺子屋こども論語塾は、東京より安岡定子先生をお招きし、40分程 孔子先生の仁の心にふれる有意義なお話を聴くことができました。最後に上野暁一君が素晴らしいお礼の言葉を述べてくれました。また、私の先唱で安岡先生が復唱してくださり、味読を披露できましたこと感動しました。

さて、冒頭の言葉は「だから、あなたも生きぬいて」の著者、大平光代さんが2000(平成12)年、波乱の半生を描いて260万部を超えるミリオンセラーとなった自叙伝の一節です。

彼女は中学生のとき、いじめにあって自殺しようと思いますが、未遂に終り、その後、非行に走って、ついには16歳で暴力団組長の妻となり、22歳で離婚します。後に養父となる厳しくも慈愛に満ちた一言がきっかけで、見事、立ち直り中卒の学歴で独学し、29歳で司法試験に1発で合格して弁護士となり、児童生徒の様々な問題に立ち向かい、2003年に大阪市の助役になり2年後に辞任、その年、先輩弁護士と再婚します。翌年、女兒を出産。ダウン症、心臓疾患、及び白血病と診断されます。現在は、家族と山間の地で静かに暮らしています。

彼女は著書の中で、こう訴えています。

現在いじめをしている子へは、「あなたがいじめているのは、きれいな子、めざわりな子かも知れません。でも、それがその子自身なのです。人はそれぞれ違うのです。その違いを認める広い心をもってほしいのです。」と。また、現在いじめられている子には、「苦しい状況が、一生続くわけではありません。学校であれば、卒業があるのです。だから絶対に自殺なんかしないでほしいのです。」と。

そして、この本の最後に書かれている言葉が冒頭の、「あきらめたら、あかん!」なのです。

壮絶な人生を送ってきた大平光代さんだからこそ、心に響き胸に迫ってくるものを感じるのではないのでしょうか。

☆ 塾生紹介 ☆

あとじ ゆか 阿閉 由佳さん	<氏名>	まえやま さき 前山 紗希さん
江別小学校・3年	<学校名及び学年>	日新小学校・2年
理科・体育	<好きな教科>	体育
スキー・テニス・水泳・旅	<趣味(好きなこと)>	絵を描くこと
グラタン・ドリア・サーモンハラス	<好きな食べ物>	チョコレート
特技はスキーでジュニア検定1級 あだ名は、ゆかぼんです。新田先生へ いつまでも元気で論語を教えてください	<その他>	血液型はB 新田先生の論語についての感想は、わかりやすく、すぐに論語がわかりました。
阿閉さんは趣味がたくさんあって、うらやましい。あだ名の「ゆかぼん」の由来を教えてくださいね。幼稚園時の意見発表は 今でも印象に残っています。塾では 時々、一人で頑張っている姿に感動します。	<先生からのコメント>	絵を描くことが好きな人って、先生は全く駄目なので尊敬してしまいました。前山さんは論語を家でしっかりと勉強しているからわかるのだと思います。先生、とても嬉しいです。